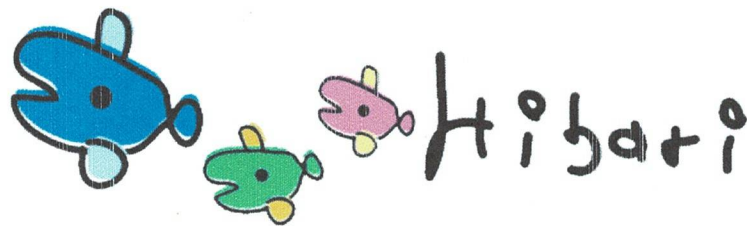


事業計画書

令和7年度



| | | | | | |
|------|----------------------------|--------|-------|-----|-----|
| 設置者 | 学校法人 水元学園 | | | | |
| 幼稚園名 | 認定こども園 ひばり幼稚園 | | | | |
| 理事長 | 樺澤 智生 | 園長 | 杉谷 法子 | | |
| 所在地 | 〒421-0113 静岡市駿河区下川原5-33-20 | | | | |
| 定員数 | 239名 | 認可クラス数 | 年少 | 年中 | 年長 |
| | | | 2 | 2 | 2 |
| | | 学年定員数 | 60名 | 70名 | 70名 |
| | | 保育所 | 0才児 | 1才児 | 2才児 |
| | | 3名 | 17名 | 19名 | |

| 事業方針 | 事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「健康で明るく丈夫な子」「善悪の判断ができ行動できる子」を目指したきめ細やかな保育の充実を図る ・地域に根差した幼稚園作り | |
|------|---------|---|---|
| | 予算編成の基軸 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設及び環境の整備と点検に努める ・保護者や地域の方々に幼稚園の内容を知っていただくための広報活動を行う | |
| | 具体項目 | 内 容 | |
| 1 | 教育計画 | 指導計画の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・食育の充実の為、自園の畑を作り栽培活動を行った(さつまいも・ジャガイモ) ・園のカリキュラムの見直しなど行って計画的に進めた。(学期ごとに反省) ・生活習慣をしっかりと身につけるよう個々の記録を取り重視した。特に2歳児はトイレトレーニングに力を入れて指導を行った。 マレーシア幼稚園オンラインを年長組が行い異文化交流を深めた。 |
| 2 | 研究計画 | 研究の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員が受けた研修を園内研修で周知し件さんに努めた。 ・園内研修幼稚園部・保育部と毎週1回研修を行い教育保育の質の向上を目指した。 ・行事ごとの反省を行い質の向上に努めた。 ・県・地区の研修(新任研修・専門研修)に参加、またリモートでの研修に年15回各自で選り参加し、キャリアアップに努めた。 |
| 3 | 地域連携計画 | 地域に根差した幼稚園作りと子育て支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・城山中学生との交流会で、学校訪問を2回行った。 海開き・地区敬老会・用宗文化祭・老人センター発表会・ペリデ老人ホーム交流会に参加し地域との交流を深めた。 ・地域の子育て支援のため、ひばりっこクラブを年12回実施した。 小規模園との交流を行い情報交換を行った。(4ヶ園 各園3回実施) プレスクールを開設し市の「子ども誰でも通園制度」を利用し子育ての支援の充実を図った。 |
| 4 | 施設設備計画 | 施設設備の点検と補修 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具修理箇所(低層遊具網)の修理を行った。 ・遊具等点検毎日1回実施 ・専門業者にて遊具の点検を実施 ・消防点検専門業者により実施 ・施設1年点検の実施 |
| 5 | 管理運営計画 | 学校評価の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会・発表会・作品展後に保護者のアンケートを実施した。 ・学校評価により、外部アンケートを実施した。 ・学校関係者評価を実施した。 ・未就園児ひばりっこクラブ参加者にアンケートを実施した。 ・教職員の自己評価・振り返りチェックシートを活用し、保育の見直しを行った。 |
| 6 | 財務計画 | 教育設備の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・園児増加に伴い、園児安全確保のための保育部クラスの監視カメラなどの備品設置を行った。 ・大型プールを購入、保育部・幼稚園部ともに園内のプール活動の充実につながった。プールの人工芝・屋上の人工芝の購入を行った。 ・園児・保護者の園内通路に夕方・夜間の送迎安全の為に人感センサーを設置。 |

～ひばり幼稚園令和7年度事業の概要～

(1) 主な行事

- 4月 入所式（保育所）・入園式・始業式・静岡まつり音楽パレード（令和6年度年長）・春の親子遠足
動物教室・幼稚園父母の会総会／参観
- 5月 歯磨き指導・幼稚園部個人面談・長田仏教会・園外保育幼稚園部・歯科検診
- 6月 エスパルス巡回指導・交通安全教室・花火教室・用宗老人福祉センター発表（年少）
内科検診・保育部参観
- 7月 泥んこ大会・子育てウイークリー・七夕の集い・サッカー教室参観・海開き（年長・中・少）
保育部希望面談・エンジョイサマー（年長）・東新田夏祭り・歯科検診・終業式・入園説明会
- 8月 預かり保育（幼稚園部）
- 9月 始業式・こども体育年長・年中参観・体操教室年少参観・祖父母参観・入園説明会・願書配布・敬
- 10月 願書受付・運動会・水軍祭り（年少・中・長）・用宗老人センター発表（年少）・SBSテレビ撮影
書道教室参観・体操教室参観・保育部ミニ運動会・サッカー教室参観
マレーシア幼稚園オンライン交流・園外保育（幼稚園部）・ベルテックス静岡来園
- 11月 花育教室（年長）・英語教室参観
広野文化祭出展・内科検診・マラソン大会・マレーシア幼稚園オンライン交流会・内科検診
子育てフェア・城山中学交流会（幼稚園部）・焼き芋パーティー・マラソン大会・引き渡し訓練
- 12月 餅つき大会・用宗老人福祉センター（年少）生活発表会（幼稚園部）クリスマス会・終業式
- 1月 始業式・ヤマト安全運転交通教室・柔道教室自由参観・お話の会・歯科検診
保育部発表会
- 2月 令和8年度オリエンテーション・作品展・参観・懇談会（幼稚園部）
節分の集い
- 3月 修了式・卒園式・令和6年度卒園児同窓会・地域清掃・年長お別れ会・参観懇談会（幼稚園部）
お別れ遠足（年長）

(2) 保育関係

<各教室>

- ・ 体操教室・・・18回（気のいい羊）りす・年少組・こども体育・・・18回 年中・年長
- ・ 英語教室・・・54回（イーオン）
- ・ 年長スイミング・・・12回（グランツスイミング）
- ・ 書道教室・・・年長・年中各年8回ずつ（太奎会）
- ・ 柔道教室・・・年2回（養生館）
- ・ エスパルスサッカー教室 年8回

<情報公開>

- ・ ひばり便りの発行・・・45回 おたよりの発行・・・コドモン
- ・ ホームページの活用・・・ひばり日記の更新
- ・ 動画配信・・・（おうちえん・Instagram）

(3) 子育て支援

- ひばりっこクラブ(未就園児)・・・12回
- 子育てウイークリー(1回)
- プレスクール(みもぞクラス)40回

(4) 防犯関係

- 防災訓練・・・年間24回実施(毎月2回)
 - 第一避難場所・・・園庭・各クラス・屋上
 - 第二避難場所・・・屋上もしくは下川原公園
 - 第三避難場所・・・川原小学校
- 総合訓練・・・2回実施

- 防犯設備・・・令和8年11月
 - 保育部1歳児園児増加の為防犯カメラ設置
 - 園内通路通路に夕方・夜間の送迎安全の為に人感カメラを設置

(5) 運営管理

- 実態調査：令和8年1月26日現地調査が行われた。指摘指導なし
-

令和7年度学校関係者評価書

学校法人水元学園 認定こども園 ひばり幼稚園

1 幼稚園の教育目標

礼儀正しく、健康で明るく元気な子の育成

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

- ・主体的に自然に触れ遊べる子。

3 自己評価に対する関係者評価

| 評価項目 | 経営者自己評価 | 課題・改善方策等 | 学校関係者評価 |
|-----------------------------|---------|---|---------|
| 幼児の実態を把握した指導の状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・2学期より2歳児英語・体操教室を引き続き継続を行った。 ・保育部の習慣をしっかりと身につけるよう個々の記録を取り重視した。 ・年齢に合ったカリキュラムを作成して日々の積み重ねを大切に一人一人の成長に合った指導を行った。 | A |
| 活動を通しての総合的な指導の状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録を取り、子ども達の興味関心がどこにあるのか考えながら教材研究を行い指導した。 ・毎日の終礼、週2回職員会議を行うことで、職員間の共通意識を深めるようにした。 | A |
| 日常の健康観察や疾病予防の為に取り組み状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭から水筒にお茶を入れ持たせてもらい、うがいにも使っている。毎朝体操とサーキットを取り入れ体力作りに務めた。 ・感染予防の為に、用具、遊具各保育室など次亜塩素酸またはアルコール消毒を毎日行うようにした。 ・保護者にも園内感染の状況を伝え、家庭内での協力を仰いだ。 | A |
| 防災対策 防災教育 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は毎月2回（地震・火災・不審者侵入）実施している。 ・防災研修に参加し減災、避難誘導について園内でも研修を行い職員の意識の向上を図った。災害対策マニュアルの見直し、職員に周知した。 ・保護者引き渡し訓練の実施。 | B |
| 園だよりの発行等、主として保護者を対象とした情報の提供 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンアプリを導入し、園だより、ひばり便り、学年だより、クラスだより等を定期的に配信している。ホームページを常に更新して園の様子を知らせている。 ・動画配信で子どもの様子を伝えている。 | B |
| 保護者の実情や要望による預かり保育を実施している。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育・預かり保育を行なっている。（早朝7：30～夕方18：30） ・土曜日は就労している場合お預かりしているが年々その数は増加傾向にある。 | A |
| 遊具、用具、図書等の整備状況 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・用具や遊具の点検は毎日一回実施している。 ・図書に関しては年長児に本返却後、整理することを指導している。 ・危険な状態がある場合はその都度チェックし安全を保つようにした。 ・専門業者の点検を年1回行った。 | B |
| 各研修会への積極的参加、職員研修の充実 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・顧問の加藤先生の指導のもと週1回幼稚園部、保育園部とも研修を行った。 ・園外研修・キャリアアップ研修・オンライン研修に参加し保育の質の向上につなげた。 | A |

* 結果の表示方法

- A 十分達成されている
- B 達成されている
- C 取り組まれているが、成果が十分でない
- D 取り組みが不十分である

4 学校関係者評価委員会のコメント

- ・担任の先生はもちろん園全体で園児一人ひとりを見守ってくれ感謝している。
- ・相談したい時の対応として、コドモン（アプリ）だと小さなことを言いにくい、また修正がしにくいなど親のアクションのしずらさがある。アプリの弊害かと感じる。相談しやすい環境を作っていくことの課題がある。
- ・引き渡し訓練をマラソン大会の後に実施してみたらどうか。（混雑感がある方がよい）
- ・QRコードをカードにして行うのはどうか。（引き渡しの証明として）
- ・インフルエンザ対応について：インフルエンザの学級閉鎖は職員が配置できない場合はあり得るが、基本そうでない限り保護者に注意喚起を行いながら保育を行う。（園回答）
- ・預かり保育・希望保育等保護者には詳しい理由説明を伝えてほしい。